

堆積環境学(能登半島海岸地形見学)

03 Oct., 2007

見学の目的

我が国日本海側を代表する砂浜海岸である千里浜, および同じく代表的な岩石海岸である能登金剛の巖門をそれぞれ見学し, 両海岸における地形, 地質, 生態系などを観察する. そして, それぞれの海岸の環境条件, とくに堆積環境を個々に考えるとともに, 両者を比較することでそれぞれの特徴を際立たせ, それらをふまえて両海岸での社会基盤整備について考える.

見学ルート

角間キャンパス→内灘IC(能登有料道路)→今浜IC→千里浜(ストップ1:千里浜なかば)→国道→巖門(ストップ2)→角間キャンパス

レポート

1. 千里浜で見たこと, 聞いたこと, 考えたこと, ならびに文献・資料等で調べたことを見学現場のスケッチあるいは画像とともに記述せよ.
2. 巖門で見たこと, 聞いたこと, 考えたこと, ならびに文献・資料等で調べたことを見学現場のスケッチあるいは画像とともに記述せよ.
3. 現場で観察した事実や資料などからの情報を十分にふまえたうえで, 両海岸における自然環境一般について比較しつつ記述せよ. そして, 両海岸で観光産業上の問題となっている下記の件について社会基盤整備の視点からその対策について考察せよ.
 - (1) 千里浜では海岸面積の減少(砂の浸食)による車輛走行面積の減少や景観の破壊が大きな問題となっている.
 - (2) 巖門に代表される能登半島の岩石海岸では, 岩壁や岩塔の崩落による景観の損壊などが大きな問題となっている.

レポートの×切

10月10日(水)午後5時. 自然研2号館Cブロック5階517号室のポスト.

環日本海域環境研究センター 塚脇真二
tukawaki@t.kanazawa-u.ac.jp